



年 組 名前

# 道新でワークシート

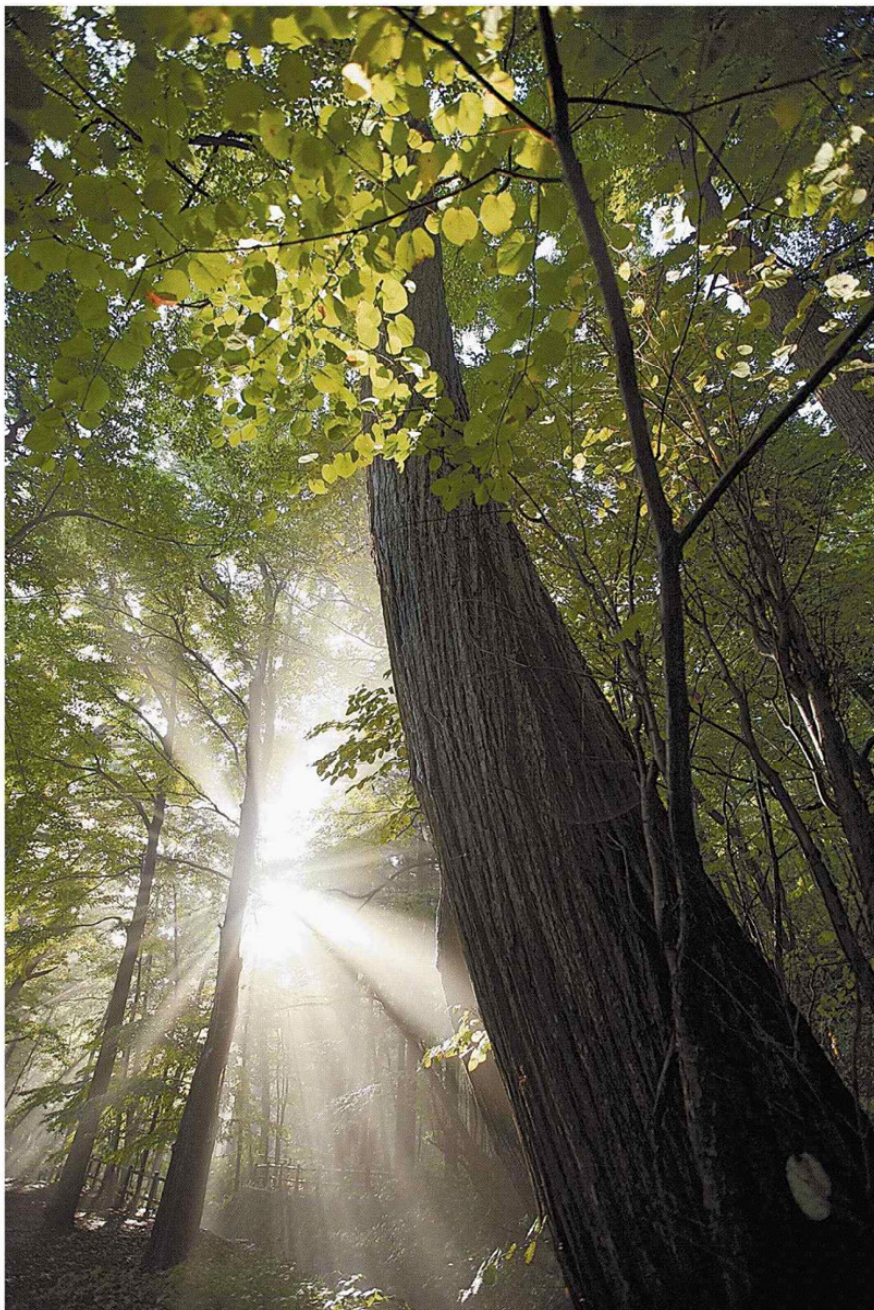
## カムイの大地

風景編

④

### 円山原始林

## 豊かな森差し込む朝日



円山原始林の澄んだ空気に差し込む朝日

札幌市の円山公園から円山山頂に至る遊歩道に入る。小鳥たちのさえずりが耳に心地よい。

多くの市民がまだ寝ている早朝は、エゾリスなど動物たちの食事時間。森の中にはぎやかだ。小動物や小鳥にレンズを向けていると、原始林の東側から強烈な太陽光が差し込んだ。

森は一見、手つかずのように見えるが、1900年代に1度伐採されていることが多く、ご神木や森の奥深くを除けば樹齢数百年の木は少ない。

円山原始林は1921年（大正10年）に国の天然記念物に指定され、今もカツラやシナノキの巨木が残る。先人たちの先見の明が、大きく発展した都市にカムイの森を残している。

（茂忠信、写真も）

2022年8月22日（月）夕刊 釧路・根室版 3ページ（記事は再編集しています）

- ①多くの人たちが寝（ね）ている早朝は、動物たちにとっては何の時間ですか。
- ②円山原始林（まるやまげんしりん）には、どんな木が生えていますか。文中に出てくる木を二つ書き抜（ぬ）きましょう。
- ③写真を見て、どんな朝をイメージしますか。「\_\_\_\_\_朝」という形で書いてみましょう。  
（例）さわやかな朝

朝